

# かさい 教育 ねっと

特集号

## 平成 30 年度 加西っ子の学力・学習状況の報告



平成 30 年 4 月 17 日(火)に実施された「平成 30 年度全国学力・学習状況調査」の結果を踏まえ、加西っ子の学力・学習状況について報告します。

### 1 全国学力・学習状況調査について

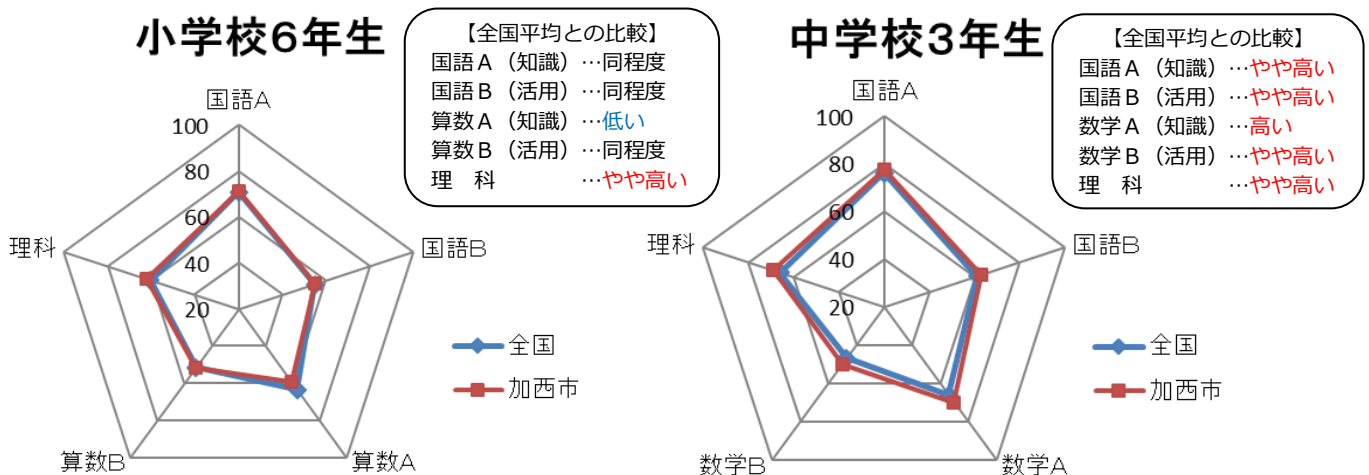


全国の小学校 6 年生と中学校 3 年生を対象とし、学力と学習状況の両面からの調査によって、児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立て、義務教育の機会均等とその水準の維持向上を目指しています。なお、本調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面です。

調査内容は、教科に関する調査として、国語、算数・数学は、それぞれ主として「知識」に関する問題（A 問題）と主として「活用」に関する問題（B 問題）について、理科は、「知識」に関する問題と「活用」に関する問題を一体的に問うという出題形式でした。また、生活習慣や学習習慣等に関する質問紙調査も実施されました。

### 2 加西っ子の学力に関する状況について —「教科に関する調査」結果から—

小学校 6 年生、中学校 3 年生の国語、算数・数学、理科について教科に関する調査の結果を基に、加西っ子の学力と全国平均を比べてみると以下のとおりでした。



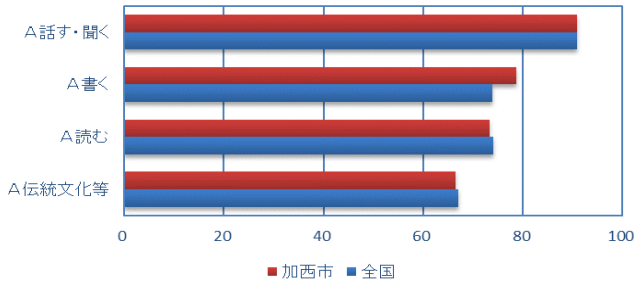
#### 全国平均との比較から、小学校は概ね同程度、中学校はやや高い数値を示している

加西っ子の学力の状況は、小学校では、全国平均との比較から、算数 A（知識）では低い数値、理科ではやや高い数値を示しているものの、他は概ね同程度でした。一方、中学校では、国語・数学・理科のすべての領域において、全国平均よりもやや高い・高い数値を示しました。

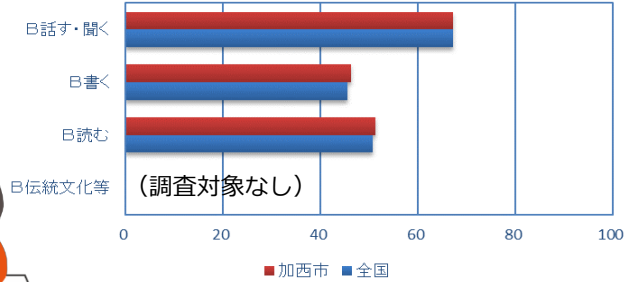
※学力の状況については、各教科・領域ごとに加西市と全国の平均正答率の比較によって把握しています。平成 29 年度より公表する点数の整数化に伴い、全国との差が「±0～1」を「同程度」、「±2～3」を「やや高い・やや低い」、「±4～」を「高い・低い」と表しています。

小 学 校

小学校・国語A



小学校・国語B



定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇相手や目的に応じ、自分が伝えたい事柄について、事例を挙げながら筋道を立てて話すことができる。  
【A知識<sup>※1</sup> 90.8%/90.8%】
- ◇話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめることができる。  
【B活用 37.0%/33.8%<sup>※2</sup>】
- 【問題】あなたが松山さんなら、どのような考えを話しますか。次の条件に合わせて書きましょう。  
①代表で発表した北川さん、小池さんのいずれかの意見を  
取り上げ、それに対してどう考えるのかを書く。  
②「これから言葉をどのように使っていくか」を書く。  
③80字以上、100字以内にまとめて書く。

課題の見られた問題例

- ◆漢字を文の中で正しく使うことができる。  
【A知識 45.0%/51.4%】  
「せつ極的」＝「面せき」  
「しょう毒」＝「けす」
- ◆目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くことができる。  
【B活用<sup>※3</sup> 14.8%/13.5%】
- ◆目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読むことができる。  
【B活用 45.6%/49.4%】

おかし店の見学に行ってきたこと

調理場には、生地を練る機械など、せい造りに必要なせつ極がある。

衛生を保つために、調理器具などを一日に何度もしょう毒する。

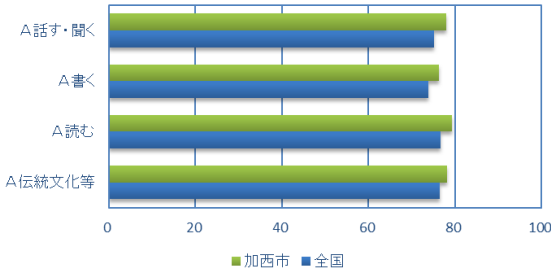
お客さんにおいしいおかしを食べてもらうために、品質をしっかりとかん理している。

地元の野菜や果物を使った新しいおかしをせつ極的に開発している。

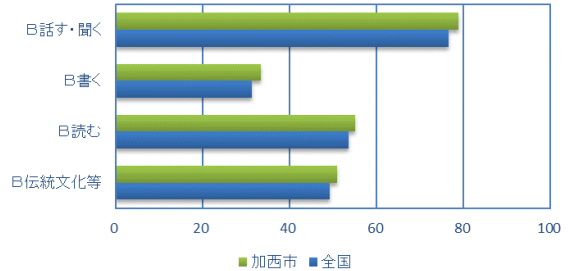
オ	ウ
3 2 1 大会でよい成績を せき任の悪い仕事を する。	3 2 1 細かい説明を ノートに文字を 運動会で赤旗が たつ。

中 学 校

中学校・国語A



中学校・国語B



課題の見られた問題例

- ◆語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことができる。  
「せきを切ったように」 【A知識 28.6%/29.2%】  
「ひとえに母のおかげ」 【A知識 56.8%/65.4%】
- ◇慣用句の意味を理解する。 【A知識 97.1%/94.7%】  
「心を打たれる」＝「感動する」  
↓
- ◆目的に応じて文の成分の順序や照応、構成を考えて適切な文を書くことができる。 【A知識 18.4%/22.3%】  
【問題】「心を打たれた。」を文末に用いた一文を書きなさい。なお、「心を打たれた」の主語を明らかにした上で、「誰(何)」の「どのようなこと」に「心を打たれた」のかがわかるように書くこと。

定着傾向が認められた項目・問題例

- ◇文脈に即して漢字を正しく読むことができる  
「凍る」→「こおる」 【A知識 98.4%/97.8%】  
「磨く」→「みがく」 【A知識 99.0%/98.1%】
  - ◇話の展開に注意して聞き、必要に応じて質問することができる。  
【B活用 93.4%/88.3%】
  - ◇目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くことができる。  
【B活用 15.8%/13.3%】
- ※全ての問題に対して無解答率が低く、最後まで自分の考えを出そうと問題に向かう姿勢がうかがえました。

人とコミュニケーションをとるロボットが、どのような会話をしているのか知りたいたのですが、具体的な会話の例を教えてくださいませんか。

山川さん

山川さんは、一人暮らしのおばあさんの生活にロボットがどのように役立つと考えているのですか。

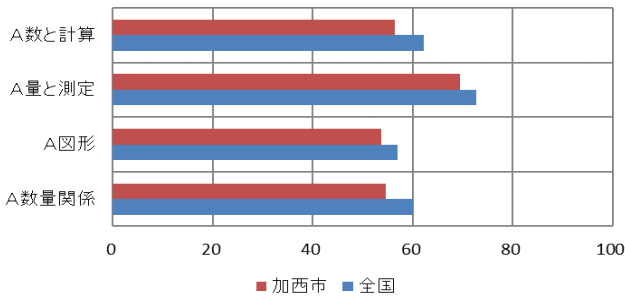
南さん 大野さん

※1 「A知識」→「A(主として知識に関する問題)」  
※3 「B活用」→「B(主として活用に関する問題)」

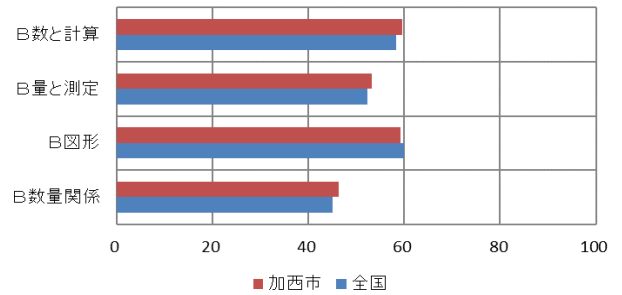
※2 「37.0%/33.8%」→「加西市の正答率/全国の正答率」

## 小学校

### 小学校・算数A



### 小学校・算数B



### 定着傾向が認められた項目・問題例

◇示された考え方を解釈し、ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる。  
【B活用 53.8%/47.9%】

玉を投げる時間	入った玉の個数	入った玉を数える時間	1回の玉入れゲームの時間
40 秒	51 個	102 秒	142 秒
50 秒	64 個	秒	秒
60 秒	80 個	秒	秒

玉を投げる時間を [                      ] 秒にすればよい。

◇示された考え方を解釈し、条件を変更して考察した数量の関係を、表現方法を適用して記述することができる。  
【B活用 63.0%/59.5%】

【問題】2の段の横に並んでいる7つの数について【はるなさんの説明】と同じように説明すると、どのようになりますか。

【はるなさんの説明】  
横に並んでいる5つの数「6, 12, 18, 24, 30」の和90は、真ん中の数18の5倍になっています。

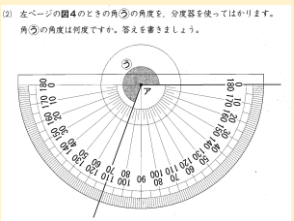
### 課題の見られた問題例

◇180°の角の大きさを理解している。

【A知識 93.5%/94.4%】

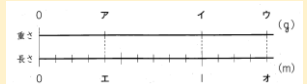
◆180°や360°を基に分度器を用いて180°よりも大きい角の大きさを求めることができる。

【A知識 52.4%/58.5%】



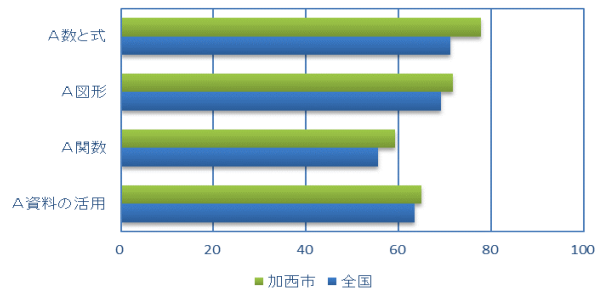
◆1に当たる大きさを求める問題場面における数量の関係を理解し、数直線上に表すことができる。

【A知識 55.0%/66.7%】

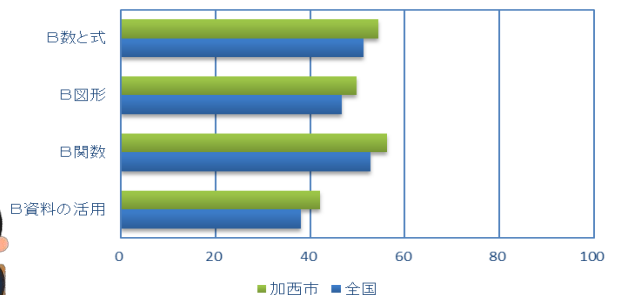


## 中学校

### 中学校・数学A



### 中学校・数学B



### 課題の見られた問題例

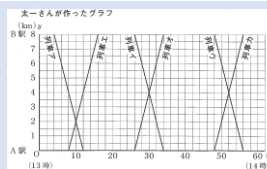
◇計算を解釈し、**数学的な表現を用いて説明**することができる。  
【B活用 9.8%/10.4%】

【問題】里奈さんの計算2からわかることがあります。ア、イの中から正しいものを1つ選びなさい。また、それが正しいことの理由を説明しなさい。

里奈さんの計算2  
団体料金は、通常料金a円の10%引きだから、  
 $a - a \times 0.1 = a - 0.1a = 0.9a$   
団体料金0.9a円の10人分は、  
 $0.9a \times 10 = 9a$   
通常料金a円の何人分にあたるかを求めるから、  
 $9a \div a = 9$

◇事象を数学的に解釈し、**問題解決の方法を数学的に説明**することができる。

【B活用 13.9%/13.2%】

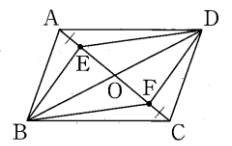


### 定着傾向が認められた項目・問題例

◇発展的に考え、条件を変えた場合について、**証明の一部を書き直す**ことができる。

【B活用 49.1%/42.4%】

◇付加された条件の下で、**新たな事柄を見だし、説明**することができる。【B活用 45.3%/42.3%】  
【問題】平行四辺形ABCDを正方形に変えると、四角形EBFDは平行四辺形の特別な形になります。四角形ABCDが正方形ならば、四角形EBFDはどんな四角形になりますか。「～ならば、……になる。」という形で書きなさい。



◇方程式を解く場面における等式の性質の使い方について理解することができる。  
【A知識 76.3%/64.0%】

## 小学校

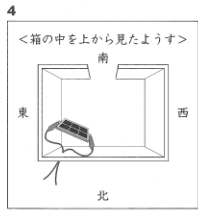
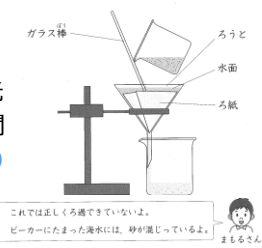
### 定着傾向が認められた項目・問題例

◇ろ過に適切な操作方法を身につけている。

【物質 78.1%/71.1%】

◇太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係を目的に合ったものづくりに適応することができる。

【理科 52.7%/41.9%】



【問題】午後1時ごろから午後3時ごろだけプロペラが回るようにするには、箱の中で光電池をどのように置けばよいと考えますか。1から4までの中から1つ選んで番号を書きましょう。

◇実験結果から言えることだけに言及した内容に改善し、その内容を記述することができる。

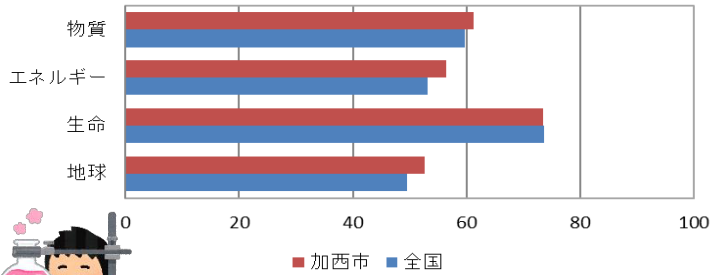
【物質 52.7%/41.9%】

【実験の結果からいえること】水にとけた物は蒸発しない。

この実験の結果からそこまでいっていいのかな？

※授業で行った実験・観察などの経験が問題のステューションとつながり正答することができている。

### 小学校・理科



### 課題の見られた問題例

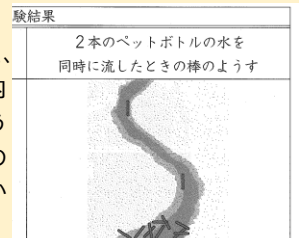
◆安全に留意し、生物を愛護する態度をもって、野鳥のひなを観察できる方法を構想することができる。

【生命 76.6%/82.1%】

◆より妥当な考えをつくりだすために、実験結果をもとに分析して考察し、その内容を記述することができる。

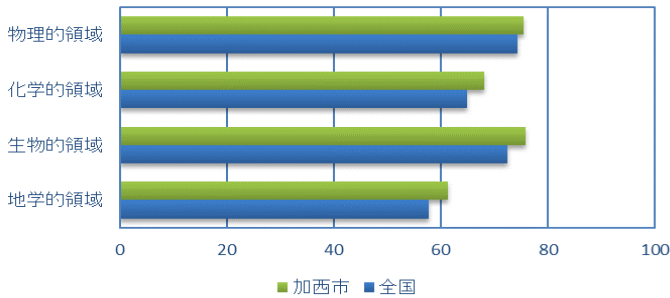
【地球 10.3%/13.2%】

【問題】川の流れる水の量が増えると、川の曲がっているところの外側と内側の地面のけずられ方は、どのようになると考えられますか。選んだわけを「水の量」と「棒のようす」がわかるようにして書きましょう。



## 中学校

### 中学校・理科



### 課題の見られた問題例

◆植物を入れた容器の中の湿度が高くなる蒸散以外の原因を指摘することができる。

【地学 18.1%/19.4%】

【問題】健一さんは、【新たな疑問】をもち、下線部以外の原因を考えました。考えられる原因を1つ書きましょう。

◆アルミニウムの原子の記号の表し方について身につけている。 × AL → ○ Al 【化学 75.2%/83.5%】

実験ノートの一部

2月11日(日) 天気 曇り 気温 22℃

【課題】密封した透明な容器の中に鉢植えの植物を置くと、湿度は上がるのだろうか。

【実験】容器の中の湿度と温度を測定する器具

【結果】

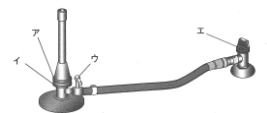
時間(時刻)	0	1	2	3	4
湿度 (%)	A 植物あり 37	67	87	88	88
	B 植物なし 38	39	39	38	38

【考察】実験の結果から、鉢植えの植物を入れた容器の中の湿度は上がるという。

【新たな疑問】湿度は温度から出るだけで、湿度が37%から88%に上がるのだろうか。

### 定着傾向が認められた項目・問題例

◇ガスバーナーの空気量を調節する場所を指摘することができる。【化学 80.0%/73.4%】



◇化学変化を表したモデルを検討して改善し、原子や分子のモデルで説明することができる。

【化学 80.0%/73.4%】

◇発熱パックに入っているアルミニウムが水の温度変化に関係していることを指摘することができる。

理科の授業場面②

【化学 81.3%/72.0%】

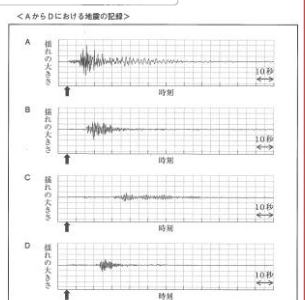


AからDは、緊急地震速報が出された地震の4つの地点の記録です。「↑」は、その地点における揺れ始めの時刻を示しています。縦軸は、それぞれの時刻における揺れの大きさです。

◇地震の揺れの強さが震度であること、S波による揺れが主要動であることの知識を身につけている。

【地学 62.9%/55.1%】

◇緊急地震速報を受け取ってからS波による揺れが始まるまでの時間が最も長い観測地点を指摘できる。



【地学 85.7%/78.5%】

子どもたちの学力は、生活習慣や学習習慣が基盤となっています。加西っ子の生活習慣や学習習慣のうち経年比較から本年度改善傾向にある項目について取り上げています。また、加西っ子の「生活と学習」の関連で注目すべき質問について、取り上げています。

平成30年度 児童・生徒質問紙

注) 赤色－経年比較(H26年度以降)による最低値 水色－経年比較による最高値

No	質問内容	小学校6年生					中学校3年生				
		H26	H27	H28	H29	H30	H26	H27	H28	H29	H30
1	朝食を毎日食べている	97	98	96	96	95	94	93	96	96	92
2	将来の夢や目標を持っている	86	86	87	85	90	66	66	68	68	69
3	自分には良いところがあると思う	77	72	76	80	90	60	58	70	73	81
4	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	97	96	97	95	97	95	95	95	93	98
5	家で、自分で計画を立てて勉強をしている	58	58	59	57	75	33	38	41	41	46
6	家で、学校の宿題をしている	97	99	98	97	98	85	91	94	94	95
7	家で、学校の授業の予習をしている	40	45	42	38	64	28	32	28	27	52
8	家で、学校の授業の復習をしている	45	45	47	38	64	38	43	35	39	52
9	算数・数学の勉強は大切だと思う	93	92	91	94	94	77	82	81	82	83
10	理科の勉強は大切だと思う		87			90		62			72
11	地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある(テレビやニュースへの関心を含む)	61	57	69	57	68	51	55	66	74	64

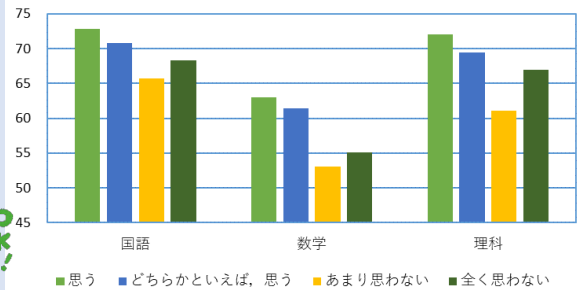
### 児童生徒の自己肯定感等に関する状況

「自分には、よいところがある」という質問に、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校では9割以上、中学校でも8割以上と平成26年度以降、大きな増加傾向が見られた。また、「先生は、よいところを認めてくれている」と感じている児童生徒の方が、自尊感情が高い傾向も見られた。

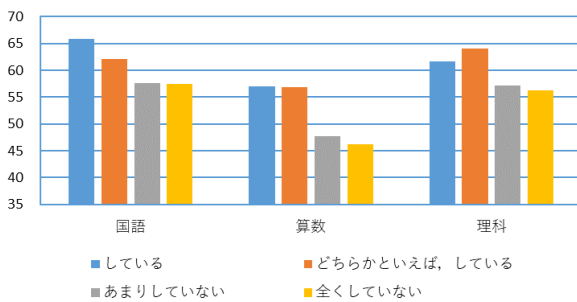
そして、これらの質問に対して肯定的に回答した児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。



自己肯定感と平均正答率(中学校)



考えの深まり・広がりや平均正答率(小学校)

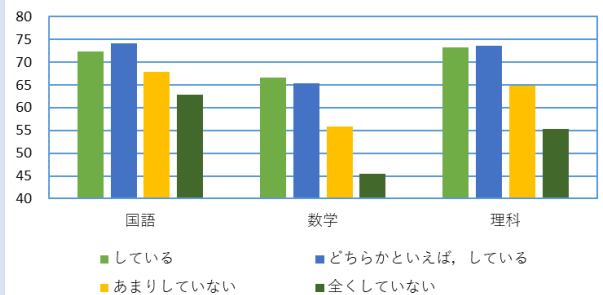


小学校において、「話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりしている」という質問に肯定的に回答した児童の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

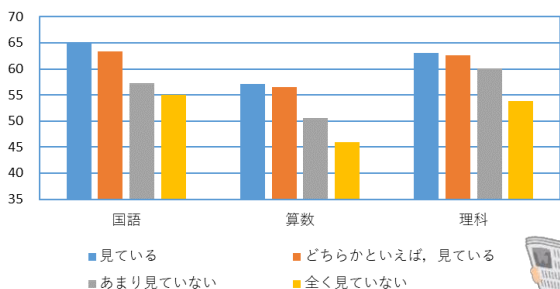
主体的・対話的で深い学びの視点による加西っ子の状況

中学校において、「自分の考えがうまく伝わるよう資料や文章、話の組み立て等を工夫して、発言や発表を行う」という質問に肯定的に回答した生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

発言や発表の仕方と平均正答率(中学校)



社会に関する状況と平均正答率(小学校)



### 児童生徒の地域や社会に関する状況

小学校において、「新聞を読んでいる」児童の割合は約5割、中学校において、「新聞を読んでいる」生徒の割合は約4割で、どちらも全国平均よりも約1割程度多い状況で、新聞に親しんでいる児童生徒が、やや多い傾向である。また、「テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか」という質問に、肯定的に回答した生徒の方が、平均正答率が高い傾向が見られた。

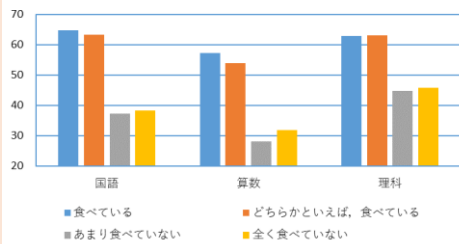




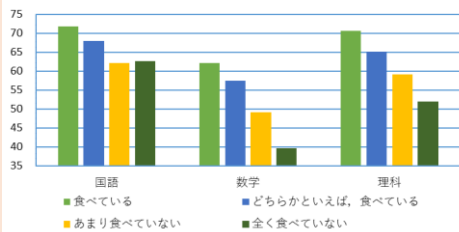
## 児童生徒の朝食に関する状況

「朝食を毎日食べていますか」という質問に、「食べている」「どちらかと言えば食べている」と肯定的に答えた児童生徒の方が、「どちらかと言えば食べていない」「全く食べていない」と答えた児童生徒よりも、平均正答率が高い傾向が見られた。特に、**小学校の児童では、正答率の差が大きく、規則正しい生活や学習習慣が身につけている児童生徒のほうが、正答率が高い傾向にある**と言えます。

朝食摂取と平均正答率（小学校）

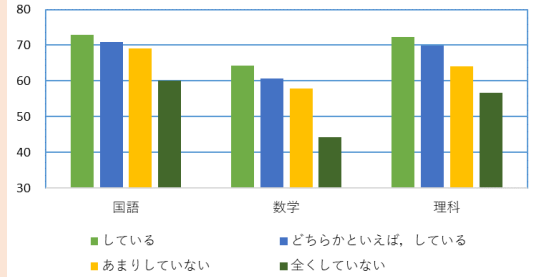


朝食摂取と平均正答率（中学校）

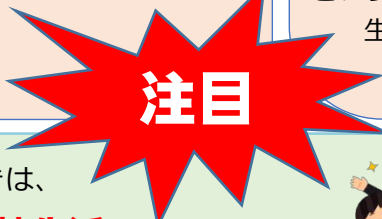


## 自学自習に関する状況

自学学習の仕方と平均正答率(中学校)



家で宿題をしている児童生徒の割合は9割5分以上で、予習・復習についても、自主的に取り組んでいる児童生徒の割合は、上昇傾向である。中学校においては「**家での予習・復習やテストの勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習している**」という質問に、肯定的に答えた**生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られた。**



以上の結果から、調査の中で注目すべきは、

- ・**前向きな気持ちと安定した学校生活**
- ・**有用感や自尊感情の向上した児童生徒の増加**
- ・**工夫して発表したり、自分の考えを広げたりする深い学び**



加西市教育委員会 学校教育課  
加西っ子の学力・学習状況 URL



です。これらは、子どもたちの意欲や興味・関心といった学力の基盤となる力です。そして、基盤となる力の深まりや広がりが成果として表れてきていることは、継続的に「基本的生活習慣」や「基礎・基本の学習」の定着が図れていることでもあります。今後も、家庭や地域の連携・協力を得ながら、各学校が工夫と特色ある教育活動を展開し、加西っ子のさらなる成長を進めていきます。

## 4 加西市の小・中学校における学力向上の取組について

加西市教育委員会では、子どもたちの学力向上について、各学校の特色ある取組をサポートしながら平成30年度は以下の取組を重点的に推進しています。

### ①学習支援システムの活用

- ・ICT機器を利用したデジタル教材やプリント教材の活用による学習の実施

### ②スクールサポーター事業の拡大

- ・スクールアシスタントやヤングアドバイザー等の学習の支援員の全校配置

### ③「かさいがんばりタイム」「かさい未来塾」の実施

- ・市内4中学校における放課後や長期休業中の補充学習の実施
- ・小学校での「かさいがんばりタイム」の実施

### ④読書活動の活性化

- ・市内全小・中・特別支援学校における図書の新規購入
- ・市内小中学校全校への新聞購読費補助
- ・市立図書館による学校図書館コーディネート事業の実施

### ⑤家庭と連携した生活習慣・学習習慣の確立

- ・家庭でのしつけ「ね・ひ・め・つ・こ」  
生活習慣「あ・い・う・え・お」、学習習慣「か・き・く・け・こ」の啓発

